

## リサーチセンター進捗状況報告書

センター名	未来ビークルリサーチセンター
センター長名	角田 範義
設置の時期	平成 16年12月 1日
報告書作成日	平成 22年 8月 31日

## 1. 設置の目的

学内に於いて、従来にない分野横断的な連携体制を機能させることにより、未来の自動車及び自動車社会に関する統合的な学術拠点を構築する。「未来ビークル事業」は、地域自治体等との連携により、近隣地域、自治体等の有する社会問題への対処を通して地域貢献、ならびに近隣企業への技術移転を通じた地域振興を目指す。H22年度からの新規「未来ビークルシティ事業」を遂行するために組織の改組を行った。

## 2. 設置後の研究成果

終了した「未来ビークルリサーチセンター事業」の成果は、各年度ごとに冊子としてまとめ公表している。

平成20年度以降は、地域連携研究を重点的に実施し、事業化の可能性を追究した。特に異材接合技術において、本事業での成果を経済産業省地域イノベーション創出研究開発事業ならびに戦略的基盤技術高度化支援事業へと発展させ、関連企業への技術移転、事業化への取り組みを加速した。

初年度（22年度）の未来ビークルシティ事業では、交通をキーワードとして「交通弱者」、「低炭素社会」、「電気バス」に関する研究を推進している。

## 3. 今後の研究計画及び期待される効果

終了した「未来ビークルリサーチセンター事業」の展開として、愛知県の「知の拠点」重点プロジェクト「低環境負荷型次世代ナノ・マイクロ加工技術の開発」プロジェクト（福本教授）としての新しい進展が期待される。新しく始まった未来ビークルシティ事業による高齢化社会・低炭素社会を先導するという研究成果が期待される。

この進捗状況報告書は、評価の後公表します。